

R5年度 第1回創造農村部会 概要

令和5年度第1回創造農村部会は、全5団体の部会員が揃い、豊岡市観光文化部観光政策課参与兼、豊岡演劇祭アドバイザーの田口幹也氏を講師としてお招きして、「人材育成の『土台』となる取組みの醸成」をテーマに勉強会を実施した。

日時	令和5年7月13日(木)10:00~12:00
会場	オンライン(Zoom)
主催	丹波篠山市
共催	文化庁、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)
参加人数	14名
参加者	部会員；東川町、可児市、丹波篠山市(部会事務局)、真庭市、多良木町 CCNJ事務局；文化庁、株式会社地域計画建築研究所(アルパック) 講師；田口幹也氏
実施内容	(1)第1回創造農村部会開会挨拶 ・丹波篠山市 企画総務部 ブランド戦略課 課長兼係長／酒井篤史氏 ・文化庁 参事官(生活文化創造担当)付 専門官／濱田泰栄氏 (2)部会員4自治体から自己紹介 (3)部会開催主旨説明 (4)勉強会 ・テーマ：「人材育成の『土台』となる取組みの醸成」／講師：田口幹也氏 (5)第2回創造農村部会の案内 (6)第1回創造農村部会閉会の挨拶(丹波篠山市)

【全体概要】

第1回創造農村部会の実施にあたり、事務局の丹波篠山市、CCNJオブザーバーの文化庁から開催の挨拶を行った。勉強会の講師として豊岡市観光文化部観光政策課参与兼、豊岡演劇祭アドバイザーの田口幹也氏をお招きした。部会員5団体から自己紹介を行った後に、田口氏より「人材育成の『土台』となる取組みの醸成」をテーマに講演していただき、活発な質疑応答や意見交換が行われた。最後に、受託事業者から第2回創造農村部会の実施内容案を説明し、丹波篠山市から閉会の挨拶を行った。

【勉強会概要】

(1)目的

事務局内で勉強会を検討する際、①地域に人を呼び込む仕組みづくり及び、②地域経済循環を生む仕組みづくり、が重要であると要点をまとめた。本部会の勉強会では、小規模地域が創造的な活動を進めるために重要と認識する、人材育成の「土台」となる、人材の獲得(人材獲得の方法論・関係人口獲得の方法論)、「人が暮らす環境(環境の整備)」について理解を深めることを目的とした。

(2)勉強会概略

「人材育成の『土台』となる取組みの醸成」をテーマに勉強会を実施した。城崎町が全国的に有名になるまでに、同氏が実施されてきた複数の取組内容について紹介を受けた。その中で、外部から地域に人を呼び込むためにコミュニケーションを設計することや、地域の資質を見える化して町全体で共有すること、そして文化やアーティストを取り入れることで文化的価値観と多様性のある社会を育んでいくことが、特に重要であると説明された。

(3)質疑等

田口氏からの講演内容について、部会員から自治体が抱える課題を踏まえた上で、地域内事業者の後継者の状況や専門職大学設立の経緯などについて質疑が行われた。また、講義を聞いた感想の共有等も行われ、活発に意見交換がなされた。



令和5年度第1回創造農村部会の様子